

町政懇談会（西林東地区）会議録

1. 開催日時

平成25年10月24日（木）午後7時から

2. 対象地区・団体

西林東自治区

3. 代表者名

西林東自治区長 土岐 充（参加者数：19名）

4. 開催会場

西林東集会所

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、建設水道課長 酒井誠明、健康福祉課長 渡部英樹、企画情報課長 杉原徳夫、企画情報課長補佐 矢部喜代栄

6. 町政方針説明・町長（要旨）

台風が来そうだということで心配したが、それほどでもないようである。伊豆大島の被害をみると台風も侮ってはならないと思う。今週26、27日とふるさとまつりが開催されるので、天候が良いことを願っている。

この前の町長選挙で当選し今回が2期目となる。ここが最初の町政懇談会となる。これから来年度に向けた予算付けも本格化する。それも含めながら忌憚のない意見を出していただきたい。まず、町政全般について町の方針に触れていきたい。

西会津町では10年間の総合計画（基本構想）を策定しており、その下で前・後期各5年間の計画（基本計画）を立て、さらに3年間の実施計画を策定して事業を進めている。実施計画の中には道路をはじめ、生活一般に関するすべてのものが網羅されている。それが予算に反映されていくことになる。平成25年度の一般会計当初予算は60億円程度であるが、平成24年度の一般会計決算は67億円程度になっている。その他、簡易水道や国保など10の特別会計を持っている。さらに水道事業会計もあり、全会計の総額で90億円を超える予算規模となっている。

町では計画の中で大きく3つの方針を掲げている。1つは「地域経済の活性化」、2つ目は「教育の振興・人材育成」、3つ目は、「健康づくりと安全安心」、この3つの柱で取り組んでいる。

「地域経済の活性化」では、商店街の活性化やグリーンツーリズムなどに取り組むほか、住宅建築に助成する「定住住宅整備費補助金」の制度を開始した。また、まちなか公園やポケットパーク整備など新しいまちづくりを進めている。若い人の就農希望者も出てきており、良い傾向である。先日交流している横浜市鶴見区にアンテナショップがオープンした。経済的な効果が出るまでは、時間がかかるかもしれないが、西会津を知ってもらうためにはアンテナショップ開設は意義がある。教育旅行などで鶴見区との交流はさらに進めていきたい。

「教育の振興・人材育成」については、統合した西会津小学校について平成27年供用を目指し新築事業を進めている。将来的には小中一貫教育も目指している。体育館やグラウンドは共用していく。中身も問題であるが、学力テストの結果については、小学生は全国の平均よりも高いが、中学生は若干低い。教育のレベルの向上も目指している。

「健康づくりと安全安心」では、災害のないまちづくりを目指しているが、土砂災害などは町内でも危険箇所が多数ある。どのような災害が起きるのかを想定して訓練していく必要がある。

る。公共施設も防災面

健康まつり「健康がいちばん！2013」を開催した。食で健康づくりを進めるとともに、食文化は、町のイメージを高めたり活性化にもつながる。

町の財政については、豊かでもないがそれほど貧しくもないと考えている。しかしこれからは施策を進めるにあたっては、総花的ではなく、重点的に取組み、スクラップアンドビルドを徹底していく。

本町の高齢化率は約41%と高い水準にある。しかし、高齢化率が高いからといって将来展望がないかというところではない。若い人が住み、子どもを育てる環境づくりが大切であり、高齢者の知識や経験をうまく利用して社会づくりに活かしていくことが必要である。

今日は、自治区の課題、居住しているの課題を出していただき、それについて担当課から回答するなど、町政懇談会を有意義なものにしていきたい。

7. 直面する集落の課題について

① 町営住宅及び定住促進住宅の建物のメンテナンスについて

自治区でも定期的に住宅の建物や周辺の清掃等行っているが、老朽化してきて、壁やコンクリートの汚れはなかなか落ちない。また風呂釜が故障した際は、入居者の負担で修理する必要がある。それらの点について意見交換したい。

(建設水道課長)

建物の汚れや傷みについては、自治区長さんと現地を確認しながら今後の対応を検討していきたい。

風呂釜については、西原住宅も下小屋住宅も従来から入居者の負担で設置いただいている。町営西林東住宅、定住促進住宅についても、既に設置されている風呂釜は使用して構わないが、それが故障して修理したり、新たに設置する場合は入居者の負担でお願いしたい。

② 冬期間の駐車場の除雪について

入居者が増え、駐車台数の増加により駐車場の除排雪が困難になってきている。町の除雪や住民の協力体制について話し合いたい。

(建設水道課長)

※駐車場除雪計画について提案

8. 意見交換

(意見・質問)

- 提案の駐車場除雪計画をするには駐車スペースが足りない。
- 駐車場を拡張できないか。
- 町営と定住促進の中の通路、冬期間何度か除雪していただけないか。
- 住宅に設置してある消火栓用のホース格納庫が大雪で埋まってしまった。
- 駐車場と住宅の間のブロック塀はずしてもらえないか。
- 共益費は何に使っているのか。
- 若い人が住むアパートなどがいないため、定住促進住宅に住むということになるが、風呂釜を買うのは若い人には大変である。
- 風呂釜の設置に補助は出してもらえないか？

- 定住促進住宅入居の際、保証人の所得証明を取るのは大変である。
- 駐車場のラインははっきり書いてほしい。
- 外灯増やしてもらえないか。
- 各部屋間の排水管について、雇用促進住宅当時は年に1回程度は清掃されていた。それも含め、プロのメンテナンスを入れてほしい。
- 1階に住んでいるが、湿気が多いためか床が窪んでいる。
- 定住促進住宅の入居者募集の期間が長く、申し込んでから決定するまで、非常に時間がかかる。入居の可否について問い合わせたら、即回答できるような体制にならないか。
- 新しい小学校（森野）に通学する場合、外灯がない箇所がある。冬期間の歩道も危険である。バス通学は考えられないか。
- 西林の交差点は危険である。
- 本日参加していない人もいるので、アンケート等やってはどうか。
- 西林東とさゆりが丘は、消防団の管轄外になっている。対応すべき。
- デナーショーがふるさとまつりのポスターに入っていない。町は、もっと力を入れて（応援して）ほしい。
- 駐車場が誰が借りているのかわからない。違う車が止まっているときもある。何か分かる表示が必要ではないか。

(町)

- 除雪については、今後自治区と話し合いをもって検討していく。
- 共益費をやめて、自治区に任せることも検討する。
- 風呂釜（ボイラー）については、補助を検討する。
- 今日、話のあったことについては、関係課に確認する。